

センクシア 鉄骨造耐震補強システム



SP
MART ATTACH



INVESTIGATION



SEISMIC TESTING

**TOTAL
SUPPORT**



PLAN



CONSTRUCTION

SP
MART ATTACH

その工場や倉庫、安全ですか？



旧耐震基準

新耐震基準(1981年)前に建てられた工場・倉庫は、震度5程度の地震に耐えることを目標に設計されているため、大地震の際倒壊の恐れがあります。診断の上、必要に応じて耐震補強が必要です。

1948年 福井地震 M7.1
 1968年 十勝沖地震 M7.9
 1978年 宮城県沖地震 M7.4

1950年 制定
 建築基準法の
 定めた
 耐震基準を

1971年
 建築基準法
 施工令改正

1981年
 建築基準法
 施工令改正
 ・大地震でも倒壊しない
 耐震基準

新耐震基準

1995年 兵庫県南部地震 M7.3
 2011年 東北地方太平洋沖地震 M8.4

1995年
 耐震改修
 促進法制定
 努力義務

2013年
 耐震改修
 促進法改正
 ・耐震診断義務化
 ・診断結果の公表

BCP(事業継続計画)対策の重要性

- 大規模自然災害への備え
- 従業員の命と安全を守る
- 社会的信用の向上

事業継続のための取り組みとして従業員の命と安全の確保、大規模災害対策、製造ラインの確保などが挙げられます。また企業は従業員に対して労働契約法上「安全配慮義務」を負っているため建物の耐震補強は早急に取り組むべき対策です。

2023年~
 南海トラフ地震
 首都圏直下型地震
 の可能性

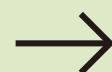
旧耐震基準のままでは、
倒壊のリスクがあります

センクシアが耐震補強工事をトータルサポートします！

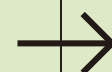
工場の多くは稼働中の生産ラインを長期間止めることができません。その為、耐震補強工事では多くの困難が伴います。センクシアでは、これまでに培った技術やノウハウを駆使して、現地調査から耐震診断、耐震補強設計と耐震補強工事に至るまでワンストップでのサポートが可能です。生産ラインも止めることなく、建物の安全・安心をご提案いたします。

ご相談の流れ

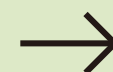
1 現地調査



2 耐震診断



3 補強設計



4 補強工事

1 スタッフが建築物の詳細確認や動線等、必要調査のため現場へお伺いします。

2 強度や耐力等の様々な項目の診断を行い、建築物の耐震性を数値化します。

3 診断結果を元にお客様に合った効率的、且つ経済的な耐震補強案を検討します。

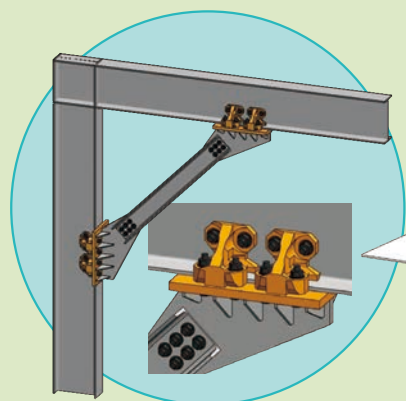
4 補強案を元に経験豊富な専門スタッフが丁寧且つ迅速に施工まで行います。

センクシアだからできる業務内容

- 実態に即した有効なご提案
- 綿密な事前調査
- センクシアネットワークを駆使した業務フロー
- センクシアオリジナル工法を用いた補強工事

センクシア 鉄骨造耐震補強システム

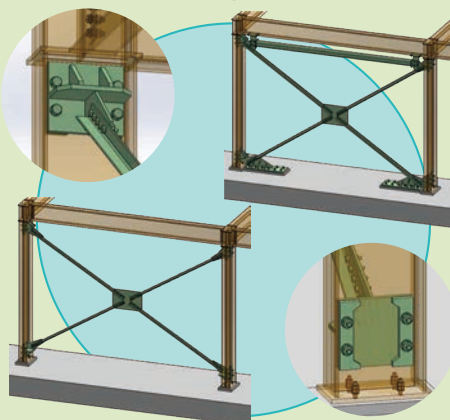
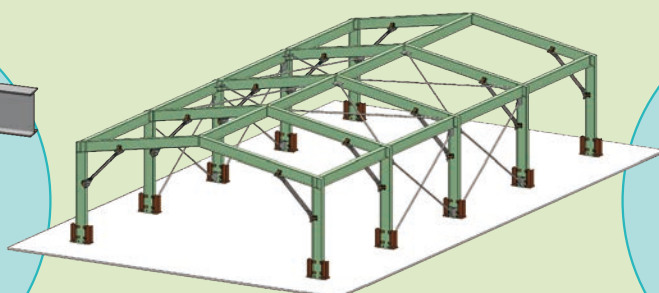
工場や倉庫、インフラ施設の補強工事に新たな工法をご提案することで、利用する人々が安心して働けるようになる環境づくりを行います。また、建物の長寿命化による産業廃棄物削減、工期短縮等の省力化により、慢性的な人材不足の解消にも貢献します。



スマートアタッチ® 工法

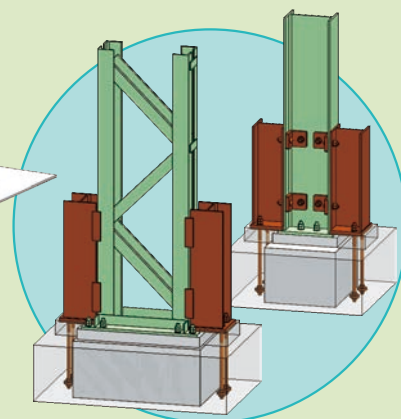
方杖補強

SMART ATTACH



スマートクロノス® 工法

鉛直ブレース補強



スマートフィット® 工法

柱脚補強

SMART FIT



無溶接



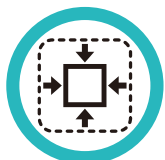
工期短縮



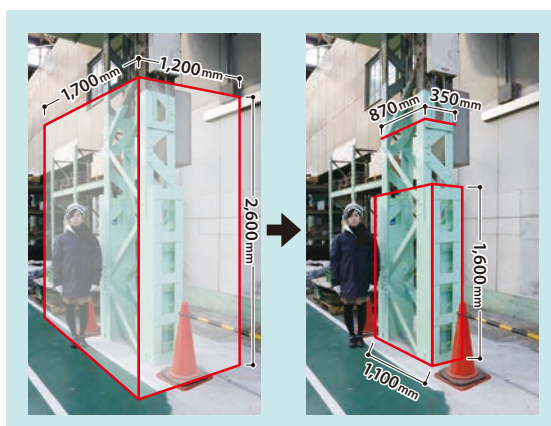
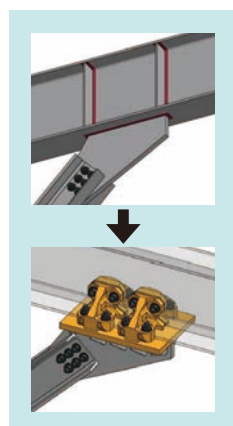
コスト削減



確かな性能



省スペース



お問合せ、詳細な資料のご請求は下記の担当者までご用命ください。

センクシア株式会社 耐震補強事業部

【E-Mail】kenzai@senqcia.com 【TEL】(03)4214-1925 【FAX】(03)3438-1061
<https://www.senqcia.co.jp/>